



大阪新聞錦画 第十五号

東京神田錦町丁目小唄をかまとの

妹をてつとつと入りの身、父の幸年宿の
 萬や舟大郎とて生來深切あふあふが
 つまの前世の約束やら甘房あまられて後ハ
 眼うつまを頼みととらへ子供入りそれ娘の
 不心得さ首人の長命邪アあつ三度の食事の厄ハ
 親お向ふて悪口雑言終つて我家をてつとつと親ハ泪ハ

くれぬ日とてかゝる聞ても
 服のたつ咄叢出二足の
 けりの生捕ちて面の皮も乾と
 會の水もさらうたさア浅ヤしき入面
 歎心孝の一字を二ツおけりも合点のゆゑ
 無論者憎むアささく歎へたて讀賣百廿二号ニ出せり

大坂新聞
 錦画
 第十五号
 幸年宿
 舟大郎

大阪新聞錦画15号 文庫10-8066-13

